

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

平成30年7～9月期の景況 / 平成30年10～12月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況は、前期より悪化傾向にある。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATE参照)の景況動向等を把握するため、2018年7～9月期の実績と2018年10～12月の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から5.8%の悪化となった。業種別では、建設業が▲3.6%から0%、卸売業においては5%から10.5%へ若干回復した。製造業が▲26.3から▲29.4%、小売業が▲11.1から▲22.2%へと悪化。サービス業が▲15.4%から▲40.9%と大幅に悪化するという結果になった。

来期の新規設備投資については、1.0%減少する見込みとなった。

経営上の問題点については、全業種において「従業員の確保難」が上位となり(建設業は9期連続)、前回に引続き、人出不足感の強い結果となった。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

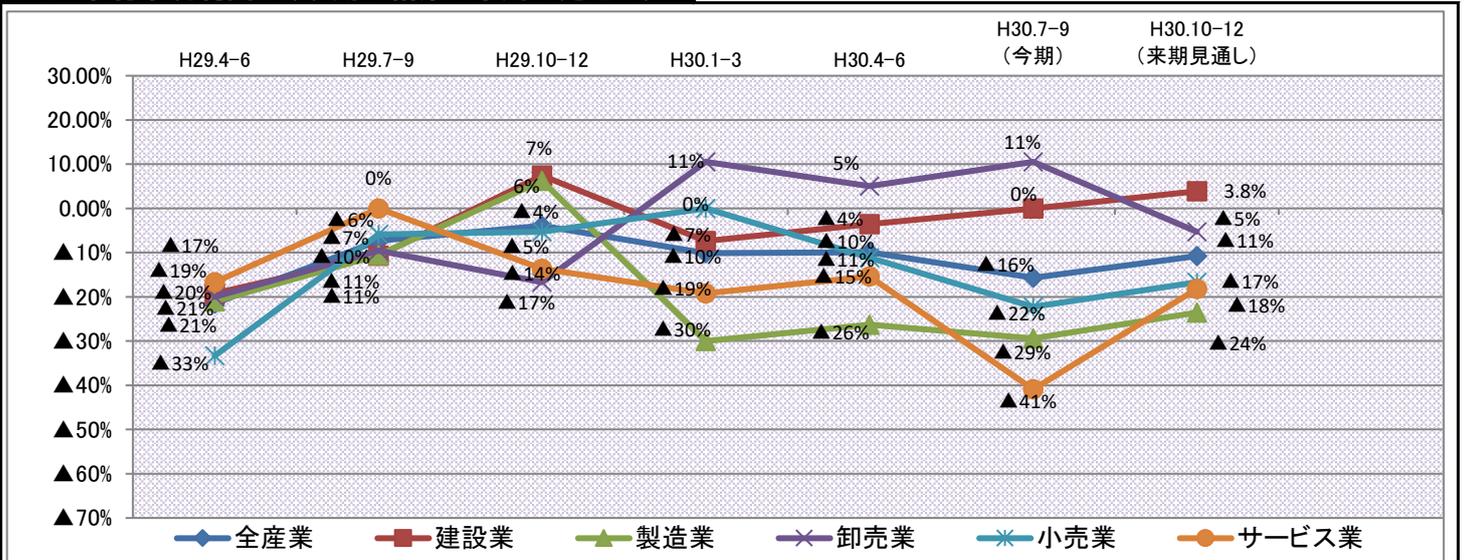
DATE

- 調査期間: 2018年8月31日～9月11日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業136社
- 有効回答企業数: 106社(78%)

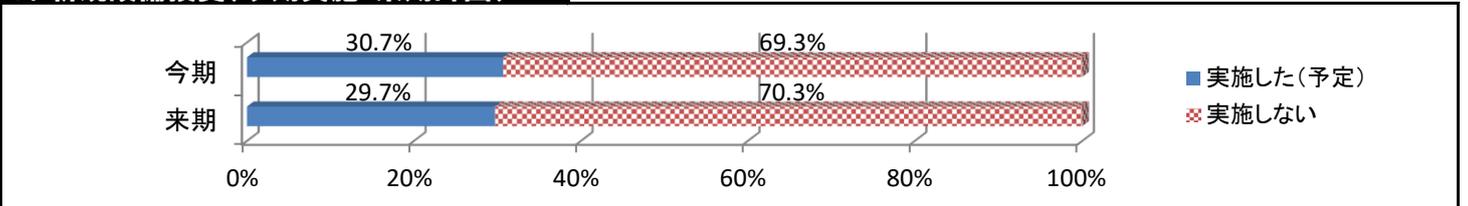
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲15.7%	▲5.8%	▲16.7%	▲12.2%	▲7.8%	▲6.9%	▲19.6%	▲2.5%	▲2.9%	▲2.0%
建設業	0%	3.6%	3.8%	7.4%	15.4%	1.1%	4%	3.8%	3.8%	3.8%
製造業	▲29.4%	▲3.1%	▲41.2%	▲57.0%	▲5.9%	▲11.1%	▲41.2%	▲9.6%	▲11.8%	▲11.8%
卸売業	10.5%	5.5%	15.8%	25.8%	▲5.3%	▲5.3%	0%	5.0%	0.0%	▲10%
小売業	▲22.2%	▲11.1%	▲27.8%	▲11.1%	▲27.8%	▲5.6%	▲33.3%	▲5.6%	5.6%	5.6%
サービス業	▲40.9%	▲25.5%	▲40.9%	▲33.2%	▲22.7%	▲15.0%	▲36.4%	▲9.4%	▲13.6%	▲2.1%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 29.7%	従業員の確保難 22.2%	従業員の確保難 22.9%	従業員の確保難 13.0%	従業員の確保難 16.4%
2位	熟練技術者の確保難 20.3%	需要の停滞 15.6%	仕入単価の上昇 12.5%	消費者ニーズの変化への対応 13.0%	利用者ニーズの変化への対応 12.7%
3位	下請業者の確保難 17.2%	原材料価格の上昇 13.3%	需要の停滞 12.5%	需要の停滞 13.0%	人件費の増加 9.1%
4位	官公需要の停滞 7.8%	生産設備の不足・老朽化 11.1%	販売単価の低下・上昇難 10.4%	購買力の他地域への流出 10.9%	熟練従業員の確保難 9.1%